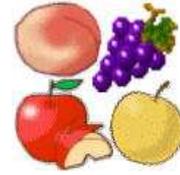




平成24年度 果樹情報 第2号

(平成24年4月12日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (4月上旬：果樹研究所)

4月の平均気温は1半旬が5.7℃で平年より2.7℃低く、2半旬が5.8℃で平年より4.3℃低い状況でした。この期間の降水量は19.5mmで平年の89%でした。

2 土壌の水分状況 (4月10日現在)

果樹研究所における土壌水分 (pF値：無かん水・草生栽培リンゴ園) は、深さ20cmが1.8、深さ40cmが1.7、深さ60cmが1.7で、適湿条件の範囲です。

3 発育状況 (果樹研究所)

- (1) モモ「あかつき」の発芽は3月31日で平年より5日遅く、「ゆうぞら」は3月30日で平年より3日遅い状況でした。
- (2) ナシ「幸水」の発芽は4月10日で平年より7日遅く、「豊水」は4月9日で平年より9日遅い状況でした。
- (3) リンゴ「つがる」の発芽は4月1日で平年より5日遅く、「ふじ」は4月3日で平年より5日遅い状況でした。
- (4) オウトウ「佐藤錦」の発芽は4月5日で平年より5日遅い状況でした。

表1 発芽・展葉状況

樹種	品種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	3月31日	3月26日	3月28日	—	—	—
	ゆうぞら	3月30日	3月27日	3月29日	—	—	—
ナシ	幸水	4月10日	4月3日	4月8日	未	4月17日	4月16日
	豊水	4月9日	3月31日	4月7日	未	4月12日	4月13日
リンゴ	つがる	4月1日	3月27日	3月30日	未	4月11日	4月14日
	ふじ	4月3日	3月29日	3月31日	未	4月10日	4月12日
オウトウ	佐藤錦	4月5日	3月31日	3月31日	—	—	—

注) 平年は1981～2010年 (オウトウは1994～2010年) の平均値。

4 開花予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並みに経過した場合、モモ「あかつき」の開花始めは4月20日頃で平年より5日遅く、ナシ「幸水」の開花始めは4月26日頃で平年より3日遅く、リンゴ「ふじ」の開花始めは5月1日頃で平年より4日遅いと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

表2 開花予測日（4月11現在）

樹種	品種	開花始め		今後の気温経過と開花予測日		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
モモ	あかつき	4月18日	4月15日	4月20日	4月19日	4月22日
ナシ	幸水	4月25日	4月23日	4月26日	4月23日	4月30日
リンゴ	ふじ	5月1日	4月27日	5月1日	4月27日	5月6日

注) 発育速度（DVR）モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成24年4月6日発表)より

今後の気温経過は、1週目（4月7日～4月13日）は低い確率が60%、2週目（4月14日～4月20日）は高い確率が50%、3～4週目（4月21日～5月4日）は平年並または高い確率が40%となっています。

5 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

事前対策としては、防霜資材の準備を徹底しましょう。また、下草は4月中旬以降をめぐりに5cm程度（地際部まで刈ると放射性物質をまきあげのおそれあり）に刈り込むとともに、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実を確保してください。

果樹の凍霜害対策のための温度指標

果樹の凍霜害対策のための生育ステージ別温度指標を、農業総合センター果樹研究所ホームページに掲載していますので、参照してください。

アドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/kajyu-shiken/homepage.htm> で、メニューの技術資料をクリックしてください。

(2) 人工受粉

開花期が低温や強風、乾燥条件で経過すると結実が劣る場合があるので、このような条件下では人工受粉をより丁寧に行ってください。

人工受粉の際に、花粉を石松子などで増量する場合には事前に発芽率を確認し、発芽率に応じた希釈倍数で調整してください。なお、発芽率30%以下の花粉は希釈しないでそのまま使用してください。

6 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア リンゴ腐らん病

本病の発生が認められる園では、展葉初期の防除を徹底してください。

また、伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発病部位は確実に削り取るかせん除し、塗布剤を塗布してください。削り取った病患部等は園内に放置せず適切に処分してください。

イ モモせん孔細菌病（モモ、ネクタリン）

前年発病が多かった園では、特に開花直前の防除を徹底し感染防止を図ってください。

また、春型枝病斑は開花後頃から見られるため、疑わしい枝枯れ症状は見つけ次第せん除しましょう。

ウ ナシ黒星病

本病の最も重要な防除時期は開花期前後であるため、開花直前の防除を徹底しましょう。

また、第一次伝染源となる花そう基部病斑は見つけ次第除去し、伝染源の密度低下に努めましょう。

(2) 虫害

ア 主要害虫の防除時期

果樹研究所内における主要害虫の誘殺時期は平年より遅い傾向にあります。そのため、ミツバチやマメコバチなどを導入する場合、訪花昆虫に影響の強い有機リン系殺虫剤等の散布時期には十分注意しましょう。

イ モモハモグリガ

今後、気温が平年並みに推移した場合、誘殺盛期は4月27日（平年に比べ2日遅い）と予測されます。本種による突発的な被害を回避するため、落花10日後の防除を確実に行ってください。

ウ リンゴコカクモンハマキ（モモ、ナシ）

昨年、本種の発生が多かった園や、現在、花や新葉に食害が見られる園では、落花直後の防除を徹底しましょう。

表3 果樹研究所における主要害虫に対する防除時期の推定

（演算方法は三角法・平成24年4月10日現在）

	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ	
	越冬世代	第1世代	越冬世代	第1世代
今後の気温予測	誘殺盛期	防除適期	誘殺盛期	防除適期
2℃高い	4月24日	4月30日	5月16日	5月28日
平年並み	4月27日	5月3日	5月23日	6月5日
2℃低い	5月2日	5月10日	6月3日	6月18日

起算日：3月1日

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。